



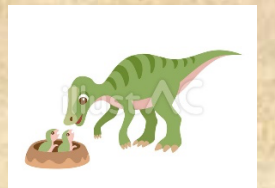
恐竜の研究について



(ネットじゃなく)「あえて図書館で」調べてみた

恐竜研究は怒涛のごとく進んでいるのだ！

- 1964 ジョン・オストロムが「デイノニクス」発見：“恐竜ルネサンス”（恐竜恒温説・鳥類の起源説など）の始まり
- 1968 「フタバスズキリュウ」発見：日本では初の中生代大型爬虫類の発見（ただし恐竜ではなく首長竜）
- 1978 「マイアサウラ（良き母トカゲ）」の巣の発見：巣の中に15体の幼体化石！ 子育てしていた
- 1986 ロバート・T・バッカー『恐竜異説』出版：尾を引きずらず、活発に動く恐竜という新イメージ誕生
- 1990 『ジュラシック・パーク』出版：1993年には映画版公開（シリーズ化）。「ヴェロキラプトル」がメジャー化
- 1993 中国で「シノサウロプテリクス」発見：プロトフェザー状の羽毛が確認され「初の羽毛恐竜発見!」と話題に
- 1995 「オヴィラプトル（卵泥棒）」に胚入りの卵を抱いた化石発見：泥棒は冤罪！ 子育てしていただけだった
- 1999 「シノルニトサウルス」の前足に鳥類に似た風切り羽根を発見：恐竜も羽ばたいていた？！
- 2003 「ミクロラプトル・グイ」の四肢に風切り羽根：「四翼」という現代にないチート形態がアリだった！
- 2006 「フタバスズキリュウ」が「フタバサウルス・スズキイ」として正式記載（新属新種）
- 2007 「ティラノサウルス」の骨（コラーゲン）のアミノ酸配列検証：ワニやトカゲよりニワトリやダチョウに近かった！
- 2010 「アンキオルニス（ほとんど鳥）」のほぼ全身の色が判明：冠羽に赤褐色をいただき羽根にも模様があった



『サイエンス』で「小惑星衝突による恐竜絶滅説」がほぼ証明された：1980年より議論

- 2012 ティラノサウルス類の大型恐竜「ユティラヌス」にも羽毛発見：小型恐竜だけじゃなかったんか！
北米でも「オルニトミムス」の幼若個体に羽毛、成体に前足の風切り羽根の痕跡を確認：成長過程で翼をゲット
- 2016 恐竜の声はハトのような「クークー」声に近かった説発表：ガオーッ！！とか吠えてなかったのか！
- 2019 2003年発見の「むかわ竜」が「カムイサウルス・ジャポニクス」として正式記載（新属新種）

日本獣医生命科学大学図書館の恐竜本（の一部）紹介

『そして恐竜は鳥になった 最新研究で迫る進化の謎』土屋健執筆／小林快次監修（誠文堂新光社） 2013年

恐竜についてまったくフォローしてなかった！という方におススメ。文章もわかりやすいし、面白い。

断片的には知ってるけど、という方にも「恐竜研究の発展の流れ」を一望できて良いと思います。

『鳥類学者 無謀にも恐竜を語る』川上和人（株式会社技術評論社） 2013年

ヒット本続発の鳥類学者が「無謀にも語ってくれた」一冊。鳥類の仲間入りをしてしまった！とも言える「恐竜」をドーンと受け止め、解説してくれています。文章も問答無用に面白いです。

↑上記2冊を続けて読むとわかりやすかったです！ 恐竜研究、すったもんだがありました

『恐竜の魅せ方：展示の舞台裏を知ればもっと楽しい』真鍋真（CCCメディアハウス） 2019年

科博の「恐竜博」監修でもお馴染みの真鍋先生が、恐竜博や化石発掘の舞台裏、それに伴う「仕事師さん」達について語ってくれました。いろいろな仕事があって恐竜博は成り立っているのです。お仕事本としても秀逸です。

『フタバスズキリュウ もうひとつの物語』佐藤たまき（ブックマン社） 2018年

発見から38年の時を経て「フタバサウルス・スズキイ」となったフタバスズキリュウの佐藤さん自身が語る「研究者の物語」。いくつものドラマがあり、それを見守るようなフタバスズキリュウを描いた表紙も素晴らしいです。

↑上記は研究活動や一般への普及活動について、当事者から知ることができるおススメの2冊です

↓以下はこれまでの恐竜研究を知りたい方々に。今は定説となっていることも、当時は驚きの新事実でした

『ホルツ博士の最新恐竜事典』トーマス・R・ホルツ（朝倉書店） 2010年

出版からすでに10年以上経っているが楽しさは失せていません。カラフルで、恐竜研究の過去と未来が満載の、サービス満点の一冊です。ニッチきわまるコラムを寄稿した大勢の古生物学者のひとりが小林快次先生でした。

『恐竜異説』ロバート・T・バッカー（株式会社平凡社） 1989年

羽毛恐竜なんて思いもよらない時代、「ノソノソ歩く大型爬虫類」的イメージだった恐竜を「温血で活発だった！」と熱く提唱した記念すべき一冊。当時はおおいに物議をかもしたことを今さらのように味わえます。

『決着！恐竜絶滅論争』後藤和久（岩波科学ライブラリ：186） 2011年

「小惑星衝突が恐竜絶滅の原因」を証明した2010年の『サイエンス』掲載論文の共著者のひとりが書いた一冊。30年間の論争についてリアルに知ることができる貴重な記録です。研究者同士の生々しいやり取りも必読。

『花に追われた恐竜：大空への挑戦者』NHK取材班（NHKサイエンススペシャル） 1994年

さすがNHK！カラフルな図と写真満載で「羽毛恐竜」発見直前の恐竜研究を一望できます。当時は最先端でした。